

縦覧用

(仮称) いちき串木野市及び薩摩川内市における風力発電事業 (改定版)

# 環境影響評価準備書

令和6年6月

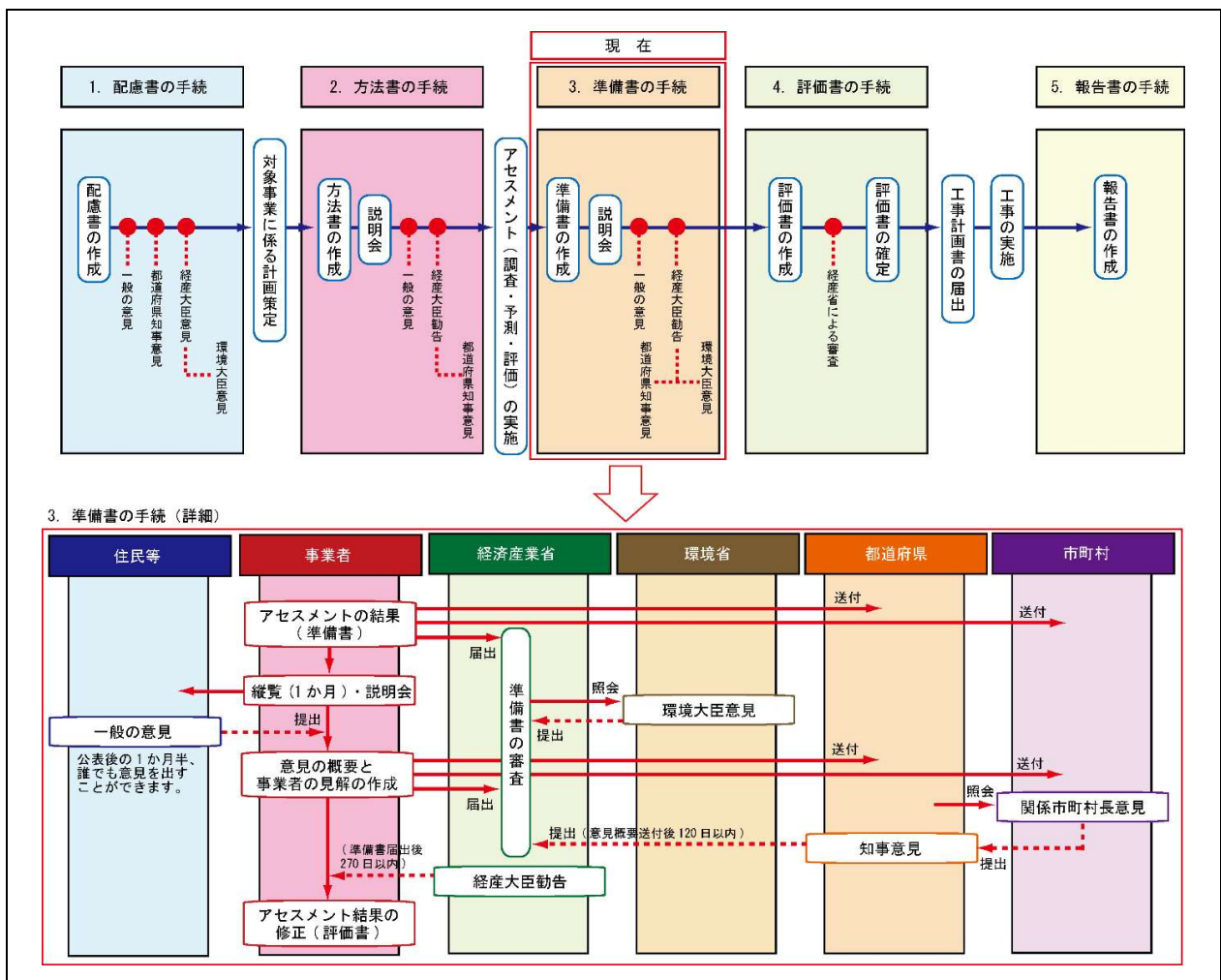
合同会社NWE-09インベストメント

本環境影響評価準備書は、「環境影響評価法」（平成9年法律第81号）第14条第1項及び「電気事業法」（昭和39年法律第170号）第46条の10の規定により、作成したものである。

【まえがき】

環境影響評価（環境アセスメント）とは、対象事業が周辺の自然環境、地域生活環境等に与える影響について、一般の方々や地域の特性をよく知っている住民の方々、地方公共団体等の意見を取り入れながら、下図の流れに沿って事業者自らが調査・予測・評価を行うことをいいます。

環境影響評価準備書は、この調査・予測・評価を実施した結果を示し、環境の保全に関する事業者自らの考え方を取りまとめたもので、準備書の手続においては、事業者は一般の方々等にその内容の周知を図るための説明会を開催します。



「環境アセスメントガイド」（環境省HP）、「発電所環境アセスメント手続の概要」（経済産業省HP）より作成

図 発電所設置に係る環境影響評価の手続

本書に掲載した地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図及び電子地形図（タイル）を複製したものである。

本環境影響評価準備書には重要な種の確認情報が記載されており、種の保護の観点から公開できない情報を含みます。また、地方公共団体が保安上公開しない情報も含みます。該当する箇所には、公開できない旨の注釈を記載しています。

# 目 次

(1/2)

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1	(1)
第2章 対象事業の目的及び内容	2-1	(3)
2.1 対象事業の目的	2-1	(3)
2.1.1 目的	2-1	(3)
2.2 対象事業の内容	2-2	(4)
2.2.1 特定対象事業の名称	2-2	(4)
2.2.2 特定対象事業により設置される発電所の原動力の種類	2-2	(4)
2.2.3 特定対象事業により設置される発電所の出力	2-2	(4)
2.2.4 対象事業実施区域	2-2	(4)
2.2.5 特定対象事業の主要設備の配置計画その他の土地の利用に関する 事項	2-6	(8)
2.2.6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項	2-10	(12)
2.2.7 切土、盛土その他の土地の造成に関する事項	2-29	(31)
2.2.8 土石の捨場又は採取場に関する事項	2-38	(40)
2.2.9 供用開始後の定常状態における操業規模に関する事項	2-39	(41)
2.2.10 温室効果ガスに関する事項	2-45	(47)
2.2.11 その他の事項	2-45	(47)
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3-1	(49)
3.1 自然的状況	3-1	(49)
3.1.1 大気環境の状況	3-1	(49)
3.1.2 水環境の状況	3-15	(63)
3.1.3 土壌及び地盤の状況	3-21	(69)
3.1.4 地形及び地質の状況	3-24	(72)
3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3-27	(75)
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	3-62	(110)
3.1.7 一般環境中の放射性物質の状況	3-71	(119)
3.2 社会的状況	3-73	(121)
3.2.1 人口及び産業の状況	3-73	(121)
3.2.2 土地利用の状況	3-78	(126)
3.2.3 河川及び地下水の利用の状況	3-82	(130)
3.2.4 交通の状況	3-88	(136)
3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設 の配置の状況及び住宅の配置の概況	3-90	(138)

3.2.6	下水道の整備状況	3-92	(140)
3.2.7	廃棄物の状況	3-92	(140)
3.2.8	環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容	3-95	(143)
第4章	計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の結果	4-1	(185)
4.1	計画段階配慮事項の選定の結果	4-1	(185)
4.1.1	計画段階配慮事項の選定	4-1	(185)
4.1.2	計画段階配慮事項の選定理由	4-3	(187)
4.2	調査、予測及び評価の手法	4-5	(189)
4.3	調査、予測及び評価の結果	4-6	(190)
4.3.1	騒音及び超低周波音	4-6	(190)
4.3.2	風車の影	4-10	(194)
4.3.3	動物	4-14	(198)
4.3.4	植物	4-30	(214)
4.3.5	生態系	4-42	(226)
4.3.6	景観	4-44	(228)
4.3.7	人と自然との触れ合いの活動の場	4-60	(244)
第5章	配慮書に対する経済産業大臣の意見及び事業者の見解	5-1	(249)
5.1	配慮書について述べられた経済産業大臣の意見	5-1	(249)
5.2	経済産業大臣の意見に対する事業者の見解	5-5	(253)
第6章	方法書についての意見と事業者の見解	6-1	(257)
6.1	方法書についての住民等の意見の概要及び事業者の見解	6-1	(257)
6.1.1	方法書の公告及び縦覧等	6-1	(257)
6.1.2	意見の概要及び事業者の見解	6-4	(260)
6.2	方法書についての都道府県知事の意見及び事業者の見解	6-20	(276)
第7章	方法書に対する経済産業大臣の勧告	7-1	(283)
第8章	環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	8-1	(291)
8.1	環境影響評価の項目の選定	8-1	(291)
8.1.1	環境影響評価の項目	8-1	(291)
8.1.2	環境影響評価項目の選定、非選定の理由	8-6	(296)
8.2	調査、予測及び評価の手法の選定	8-9	(299)
8.2.1	調査、予測及び評価の手法	8-9	(299)

8.2.2	調査、予測及び評価の手法の選定の理由	8-9	(299)
第9章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法についての経			
	済産業大臣の助言	9-1	(391)
第10章 環境影響評価の結果			
10.1	調査結果の概要並びに予測及び評価の結果	10.1.1-1	(393)
10.1.1	大気環境	10.1.1-1	(393)
(1)	大気質	10.1.1-1	(393)
①	調査結果の概要	10.1.1-1	(393)
イ.	気象の状況	10.1.1-1	(393)
ロ.	窒素酸化物の濃度の状況	10.1.1-23	(415)
ハ.	粉じん等（降下ばいじん）の状況	10.1.1-26	(418)
ニ.	道路交通量に係る状況	10.1.1-28	(420)
ホ.	道路構造の状況	10.1.1-30	(422)
②	予測及び評価の結果	10.1.1-32	(424)
イ.	工事の実施	10.1.1-32	(424)
(イ)	工事用資材等の搬出入	10.1.1-32	(424)
(ロ)	建設機械の稼働	10.1.1-45	(437)
(2)	騒音	10.1.1-68	(460)
①	調査結果の概要	10.1.1-68	(460)
イ.	道路交通騒音の状況	10.1.1-68	(460)
ロ.	沿道の状況	10.1.1-71	(463)
ハ.	道路構造の状況	10.1.1-72	(464)
ニ.	交通量に係る状況	10.1.1-75	(467)
ホ.	騒音の状況（環境騒音）	10.1.1-77	(469)
ヘ.	騒音の状況（残留騒音）	10.1.1-79	(471)
ト.	地表面の状況	10.1.1-92	(484)
②	予測及び評価の結果	10.1.1-93	(485)
イ.	工事の実施	10.1.1-93	(485)
(イ)	工事用資材等の搬出入	10.1.1-93	(485)
(ロ)	建設機械の稼働	10.1.1-99	(491)
ロ.	土地又は工作物の存在及び供用	10.1.1-107	(499)
(イ)	施設の稼働	10.1.1-107	(499)
(3)	低周波音	10.1.1-131	(523)
①	調査結果の概要	10.1.1-131	(523)
イ.	低周波音（超低周波音を含む、以下同じ）の状況	10.1.1-131	(523)
ロ.	地表面の状況	10.1.1-139	(531)
②	予測及び評価の結果	10.1.1-140	(532)

イ．土地又は工作物の存在及び供用	10.1.1-140	(532)
(イ) 施設の稼働	10.1.1-140	(532)
(4) 振動	10.1.1-179	(571)
① 調査結果の概要	10.1.1-179	(571)
イ．道路交通振動の状況	10.1.1-179	(571)
ロ．沿道の状況	10.1.1-181	(573)
ハ．道路構造の状況	10.1.1-182	(574)
ニ．交通量に係る状況	10.1.1-183	(575)
ホ．地盤の状況	10.1.1-185	(577)
ヘ．振動の状況	10.1.1-186	(578)
② 予測及び評価の結果	10.1.1-187	(579)
イ．工事の実施	10.1.1-187	(579)
(イ) 工事用資材等の搬出入	10.1.1-187	(579)
(ロ) 建設機械の稼働	10.1.1-193	(585)
10.1.2 水環境	10.1.2-1	(591)
(1) 水質	10.1.2-1	(591)
① 調査結果の概要	10.1.2-1	(591)
イ．水の濁りの状況	10.1.2-1	(591)
ロ．河川流量の状況	10.1.2-6	(596)
ハ．気象の状況	10.1.2-8	(598)
ニ．土質の状況	10.1.2-9	(599)
② 予測及び評価の結果	10.1.2-12	(602)
イ．工事の実施	10.1.2-12	(602)
(イ) 造成等の施工による一時的な影響	10.1.2-12	(602)
10.1.3 その他の環境	10.1.3-1	(621)
(1) 風車の影	10.1.3-1	(621)
① 調査結果の概要	10.1.3-1	(621)
イ．土地利用の状況	10.1.3-1	(621)
ロ．地形の状況	10.1.3-1	(621)
② 予測及び評価の結果	10.1.3-6	(626)
イ．土地又は工作物の存在及び供用	10.1.3-6	(626)
(イ) 施設の稼働	10.1.3-6	(626)

注：「10.1.4 動物」以降の目次は、次ページ以降（2/2）に示す。

## 目 次

(2/2)

10.1.4 動物	10.1.4-1	(647)
(1) 重要な種及び注目すべき生息地	10.1.4-1	(647)
① 調査結果の概要	10.1.4-1	(647)
イ. 哺乳類(コウモリ類を除く)相の状況	10.1.4-1	(647)
ロ. 哺乳類(コウモリ類)相の状況	10.1.4-6	(652)
ハ. 鳥類相の状況	10.1.4-14	(660)
ニ. 爬虫類相の状況	10.1.4-44	(690)
ホ. 両生類相の状況	10.1.4-47	(693)
ヘ. 昆虫類相の状況	10.1.4-49	(695)
ト. 魚類相の状況	10.1.4-53	(699)
チ. 底生動物相の状況	10.1.4-57	(703)
リ. 陸産貝類相の状況	10.1.4-59	(705)
ヌ. 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境 の状況	10.1.4-63	(709)
② 予測及び評価の結果	10.1.4-123	(769)
イ. 工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用	10.1.4-123	(769)
(イ) 造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在、 施設の稼働	10.1.4-123	(769)
10.1.5 植物	10.1.5-1	(875)
(1) 重要な種及び重要な群落	10.1.5-1	(875)
① 調査結果の概要	10.1.5-1	(875)
イ. 植物相の状況	10.1.5-1	(875)
ロ. 植生の状況	10.1.5-4	(878)
ハ. 重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況	10.1.5-40	(914)
② 予測及び評価の結果	10.1.5-75	(949)
イ. 工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用	10.1.5-75	(949)
(イ) 造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在	10.1.5-75	(949)
10.1.6 生態系	10.1.6-1	(979)
(1) 地域を特徴づける生態系	10.1.6-1	(979)
① 動植物その他の自然環境に係る概況	10.1.6-1	(979)
イ. 調査結果の概要	10.1.6-1	(979)
(イ) 文献その他の資料調査	10.1.6-1	(979)
(ロ) 現地調査	10.1.6-2	(980)
(ハ) 地域の生態系	10.1.6-2	(980)

② 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況	10. 1. 6-7	(985)
イ. 注目種の選定	10. 1. 6-7	(985)
(イ) 上位性注目種	10. 1. 6-7	(985)
(ロ) 典型性注目種	10. 1. 6-9	(987)
(ハ) 特殊性注目種	10. 1. 6-10	(988)
ロ. 上位性注目種 (クマタカ)	10. 1. 6-11	(989)
(イ) 調査結果の概要	10. 1. 6-11	(989)
(ロ) 予測及び評価の結果	10. 1. 6-55	(1033)
ハ. 典型性注目種 (カラ類)	10. 1. 6-67	(1045)
(イ) 調査結果の概要	10. 1. 6-67	(1045)
(ロ) 予測及び評価の結果	10. 1. 6-86	(1064)
10. 1. 7 景観	10. 1. 7-1	(1069)
(1) 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	10. 1. 7-1	(1069)
① 調査結果の概要	10. 1. 7-1	(1069)
イ. 眺望点の状況	10. 1. 7-1	(1069)
ロ. 景観資源の状況	10. 1. 7-5	(1073)
ハ. 主要な眺望点及び眺望景観の状況	10. 1. 7-11	(1079)
② 予測及び評価の結果	10. 1. 7-18	(1086)
イ. 土地又は工作物の存在及び供用	10. 1. 7-18	(1086)
(イ) 地形改変及び施設の存在	10. 1. 7-18	(1086)
10. 1. 8 人と自然との触れ合いの活動の場	10. 1. 8-1	(1125)
(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場	10. 1. 8-1	(1125)
① 調査結果の概要	10. 1. 8-1	(1125)
イ. 人と自然との触れ合いの活動の場の状況	10. 1. 8-1	(1125)
ロ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布	10. 1. 8-5	(1129)
ハ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用の状況及び利用環境の状況	10. 1. 8-6	(1130)
ニ. 交通量に係る状況	10. 1. 8-11	(1135)
② 予測及び評価の結果	10. 1. 8-12	(1136)
イ. 工事の実施	10. 1. 8-12	(1136)
(イ) 工事用資材等の搬出入	10. 1. 8-12	(1136)
10. 1. 9 廃棄物等	10. 1. 9-1	(1141)
(1) 産業廃棄物及び残土	10. 1. 9-1	(1141)
① 予測及び評価の結果	10. 1. 9-1	(1141)
イ. 工事の実施	10. 1. 9-1	(1141)
(イ) 造成等の施工による一時的な影響	10. 1. 9-1	(1141)



10.2	環境の保全のための措置	10.2-1	(1145)
10.2.1	環境の保全のための措置の基本的な考え方	10.2-1	(1145)
10.2.2	環境保全措置の検討の経過及び結果	10.2-2	(1146)
10.2.3	環境保全措置の検討結果の整理	10.2-22	(1166)
10.3	事後調査	10.3-1	(1179)
10.3.1	事後調査	10.3-1	(1179)
10.3.2	検討結果の整理	10.3-4	(1182)
10.4	環境影響の総合的な評価	10.4-1	(1187)
第11章	環境影響評価を委託した事業者の名称、代表者の氏名及び主たる 事務所の所在地	11-1	(1247)
第12章	その他環境省令で定める事項	12-1	(1249)
12.1	配慮書についての関係地方公共団体の長の意見及び一般の意見の概 要、並びに事業者の見解	12-1	(1249)
12.1.1	配慮書についての関係地方公共団体の長の意見及び事業者の見解	12-1	(1249)
12.1.2	配慮書についての一般の意見の概要及び事業者の見解	12-9	(1257)
12.2	発電設備等の構造若しくは配置、事業を実施する位置又は事業の規模 に関する事項を決定する過程における環境の保全の配慮に係る検討 の経緯及びその内容	12-20	(1268)
12.2.1	配慮書における検討の経緯	12-20	(1268)
12.2.2	方法書までの事業内容の具体化の過程における環境の保全の配慮 に係る検討の経緯	12-38	(1286)

